

自動車防災情報

梅雨時の安全運転のポイント

梅雨時の運転は平常時と違い『視界の悪化』『路面の悪化』『雨音』という3つの原因で集中力が低下しやすくなります。そのためドライバーには心理的に大きなストレスと緊張が加わり、また道路では雨の影響で交通量が増えてノロノロ運転になりがちのため、運転が乱暴になり事故の増加を招くことがあります。

スと緊張が加わり、また道路では雨の影響で交通量が増えてノロノロ運転になりがちのため、運転が乱暴になり事故の増加を招くことがあります。

ドライバーが気をつけたい雨天時の心理面

- イライラしない。
- 急ぎすぎない、無理な追い越しはしない。
- 歩行者や自転車の動きに十分注意する。
- 車両の雨対策をおこない余裕をもって運転をする。
- 大雨が降っているときは運転を中止し休憩する。



ドライバーが気をつけたい運転時の注意点

- スリップ事故を起こさないようにスピードを出しすぎない。
- スピードを出しての追い越し運転はしない。
- 視界悪化による追突事故を避けるために車両間隔を空けよう。暗くなったら早めにライトを点灯する。
- デフロスターやデフォグガーをつけ窓ガラスのくもりを抑える。
- 曲がる際にはウィンカーを早めに出す。
- 水たまりにハンドルを取られないようにしっかりと握る。



車のチェックとメンテナンス

- ワイパーを点検し、以下のような症状が出たら交換しましょう。
 - ・スジ状の線が残る。 ・拭き取りの際にビビリ音がする。
 - ・拭きムラができる。 ・水がにじんで残る。
- タイヤの摩耗と空気圧をチェックしましょう。
 - ・タイヤの溝が残り少なくなっていないかスリップサインでチェックしましょう。
 - ・空気圧が不足するとタイヤが路面を押さえる力が弱くなり、水圧に負けて浮き上がりやすくなり、ハイドロプレーニング現象の原因になります。
- エアコンガスの点検をしましょう。
 - ・サイトグラス覗いて、ガスが適正量入っているか点検します。
- ウインドウワッシャー液の量を点検しましょう。
- サイドミラーやサイドウインドーガラスに撥水コーティングをする。
 - ・左右の視界を確保することで、曲がる時や車線変更時の事故を防ぎます。

